

資格学校(S社N社)への通学は必須 (S社N社の選択は下記を見て各自判断する)

① **合格率**はほぼ同じと推定(占有率ではない)

② **予測課題**はS社N社ともに類似している

③ **価格**はS社高額(N社の1.5倍+追加費あり)

建築資格研究会: www.kenchiku-shikaku.net

資格学校(S社・N社)どちらに通学するのが良いかについて解説します。
第一に製図試験の場合、S社・N社の合格占有率が9割を占めることから、資格学校への通学は必須と言えます。

両社について下記の内容を客観的にまとめましたので、参考にして頂き、最終的には各自の判断でご決定下さい。

- ① 合格率は、ほぼ同じと推定する(占有率ではなく、ここを誤解しないように)。
- ② 予測課題は、S社・N社ともに約15種類が提示され、その内容もかなり類似している。
- ③ 価格(受講料)は、断然S社が高く、N社の約1.5倍であり、更に様々な補習と称して追加料金が発生する。

資格学校の合格者の占有率

資格学校の占有率は90%を占める

表 令和3年「集合住宅」の製図試験における資格学校の合格者割合

R3製図合格者 ^{※1}	資格学校	合格者 ^{※2}	S社N社合格者 ^{※3}	S社N社占有率 ^{※4}
3,765人	S社	1,986人	3,393人	90%
	N社	1,407人		

※1: (公財)建築技術教育普及センターから公表された令和3年の合格人数3765人

※2: S社、N社がホームページで公表している合格人数

※3: S社、N社がホームページで公表している合格人数の合計

※4: $(3,393/3,765) \times 100 = 90\%$ S社、N社が占有率の90%を占める

建築資格研究会: www.kenchiku-shikaku.net

S社とN社の令和3年、集合住宅の製図試験の合格者は、全体の合格の90%を占めます。

近年は、両社による詳細な合格者を公表していませんが、概ね90%程度と推定します。

つまり、1級建築士の製図試験は、大手2社が合格者の90%を占めており、その他の10%を他の資格学校や独学者が占めている試験でもあると言えます。

なお、毎年、資格学校へ通学しないで、建築資格研究会のホームページのみの学習で合格される方が数名おります。

資格学校の合格率は、ほぼ同じと推定 資格学校の**合格率**は公表されていない 公表されているのは**占有率**である

表 令和3年「集合住宅」の製図試験における資格学校の合格状況

R3製図合格者※1	資格学校	合格者※2	占有率※3	合格率※4
3,765人	S社	1,986人	約53%	35～39%推定
	N社	1,407人	約37%	35～39%推定

※1: (公財)建築技術教育普及センターから公表された令和3年の合格人数3765人

※2: S社、N社がホームページで公表している合格人数

※3: 全合格者に占める合格者割合(S社の数値が高いのは単純に受講者が多い)

※4: 公表されていないので研究会の情報収集から推定した数値

資格学校の製図の合格率について、令和3年を参考に解説します。
令和3年の製図合格者は、3765人であり、S社が1986人、N社が1407人です。
それぞれの合格者の占有率は、S社が約53%、N社が37%です。
ここで勘違いをしないようにして頂きたいのですが、この占有率は、受講者が多いと単純に数値が上がります。
S社が高い数値であるのは、単純に受講者が多いからと推定します。
合格率については、S社、N社のどちらも35%～39%と推定しています。

令和6年の合格率					
資格学校の合格率は公表されていない					
年度	受験者数	合格	不合格		
		ランクⅠ	ランクⅡ	ランクⅢ	ランクⅣ
平成21年	12,545人	41.2% (5,164人)	25.8%	23.0%	10.0%
平成22年	10,705人	41.8% (4,476人)	27.8%	23.5%	6.9%
平成23年	11,202人	40.7% (4,560人)	30.5%	18.1%	10.7%
平成24年	10,242人	41.7% (4,276人)	27.9%	23.2%	9.2%
平成25年	9,830人	40.8% (4,014人)	27.9%	23.5%	9.2%
平成26年	9,460人	40.5% (3,825人)	27.9%	23.5%	9.2%
平成27年	9,308人	40.5% (3,774人)	27.9%	23.5%	9.2%
平成28年	8,653人	42.4% (3,673人)	27.9%	23.5%	9.2%
平成29年	8,931人	37.7% (3,365人)	27.9%	23.5%	11.2%
平成30年	9,251人	41.4% (3,827人)	16.3%	16.5%	25.9%
令和元年	10,151人	35.2% (3,571人)	4.3%	30.8%	29.7%
令和2年	11,031人	34.4% (3,796人)	5.0%	24.3%	35.7%
令和3年	10,499人	35.9% (3,765人)	6.3%	26.9%	30.9%
令和4年	10,509人	33.0% (3,473人)	6.1%	32.4%	28.5%
令和5年	10,238人	33.2% (3,401人)	2.1%	22.1%	42.6%
令和6年	11,306人	26.6% (3,010人)	1.5%	23.9%	48.0%

令和6年大学の
合格率は約27%

S社もN社も合格者の占有率は、ホームページで公表されていますが、合格率は、公表していません。
製図試験の合格率は、令和6年大学で27%となっています。
様々な情報から独自に分析すると、S社もN社も毎年の合格率に近い数値になっているのではないかと推定します。

価格はS社が高額（N社の約1.5倍＋補習費あり）

S社は宣伝力**が非常に高い（投資額大）**

（1）S社の宣伝力**は高く初受験者の多くが受講**



（2）S社はN社と比較すると約1.5倍**＋**補習費**あり**



（3）2年目以降はN社**へ流れる・・・なぜ？**

S社の宣伝力は非常に高いです。
その結果、初受験者の多くが受講し、初受験者の合格占有率も高くなっています。
この宣伝への費用をかけている等からと推定するが、S社の受講費は高額です。
S社の受講費は、概ねN社の1.5倍であり、さらに長期補習や直前補習などの追加費用として数十万円が追加でかかります。
この追加費用があること等から、2年目からは、N社へ変える方が多くいます。
S社なりの魅力的な一面もあり、ただし夜遅くまでの学習は人間の集中りよくの限界を超えているので、あまり賛成できませんが、それ以外にも多々良い点はありますので、各自ご判断下さい。
以上で令和7年、合格するぞ「資格学校はどちらに通学するの？」の解説を終了します。